

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-1 健康づくりの推進
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課 柳課長	電話番号	0852-22-5254
----------	-----------	------	--------------

事務事業の名称	結核予防対策推進事業		
目的	(1) 対象	県民	
	(2) 意図	結核のまん延防止を図る	
事業概要	島根県結核対策推進計画に基づき、「早期発見の推進」、「定期健康診断の受診率・予防接種の接種率の向上」、「病院や施設内での集団感染対策」を重点的施策とし、結核対策の推進を図っている。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	結核罹患患者（人口10万人対）	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	人
	式・定義	新規結核患者数/県人口×100,000	実績値	14.7	12.6			
			達成率	-	74.0	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	39,552	36,337
うち一般財源 (千円)	20,813	18,912

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 平成28年の新規登録結核患者の罹患率（対10万人）は、12.6となり、前年(14.7)に比べ下がっている。
- 結核病床として、県東部の独立行政法人国立病院機構松江医療センターに12床、県西部の益田赤十字病院4床を確保している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 結核の罹患者が減少した。
- 服薬支援手帳を作成した。
- 島根県地域DOTS実施要領を策定した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
- 集団発生事例では、患者数が一時的に増加し緊急的に第二種感染症指定医療機関に入院するケースが生じる。
 - 高齢者の場合、発症から診断までの期間が長くなり対応が遅れる。また、糖尿病や精神疾患などの基礎疾患のある患者が多い。
 - 外国人患者発生が増加している。
- ②困っている状況が発生している「原因」
- 高齢者施設を中心として施設内での患者発生リスクが常にある。
 - 外国人就労者の患者発生があり、言葉の問題で意思疎通が困難である。
- ③原因を解消するための「課題」
- 施設内の感染拡大防止対策を普及啓発することが必要。
 - 外国人に、入院や服薬の必要性の伝達をはかるとこのできる通訳の確保が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 結核予防週間でのキャンペーン、保健所管内研修の実施を継続する
- 施設が実施する定期健康診断経費補助していく
- 患者発生時の迅速、適正な対応を行う（接触者検診の徹底、管理検診の徹底）
- 医療関係の通訳者の情報を入手に努める。